



神奈川貿易報告

大藏省  
翻譯課

3417



114  
A3142  
13 IX

神奈川



茲一千八百七十六年十二月三十一日迄一周年  
間ノ當港貿易報告書ニ左ノ表ヲ添ヘ謹テ閣下

ノ閱覽ニ供ス

千八百七十六年六月二十三日 神奈川英國領

事館ニ於テ

英國領事

英國公使閣下

第一 輸入貿易表

第二 輸出貿易表

大正十一年四月

第三

船舶出入表

第四

貨幣輸出入表

第五

輸出入收稅及倉敷料其他船舶出入

手数料表

第六

本港在留英國人及英國商會及各國居留人各國商會負數表

左ニ千八百七十五年間ノ貿易高ト千八百七十

六年間ノ分トヲ掲載シ以テ之レヲ比較スベシ

千八百七十六年間ノ貿易高即チ左ノ如シ

輸入高

一千八百八十四万一千八百八十

弗

輸出高

二千四百一十三万一千八百七十九

弗

合計

四千二十七万三千七百五十九弗

是ニ由テ之レヲ視レハ千八百七十五年間ノ貿

易高ヨリ増加スルヲ實ニ五百八十五万三千百

二十弗ナリ

右兩年間ノ貿易高比較表左ノ如シ

千八百七十六年

輸入高

一千八百八十四万一千八百八十

輸出高

弗

二千百四十三万一千八百七十九

弗

合計

四千二十七万三千七百五十九弗

千八百七十五年

輸入高

二千百九十五万三千九百九弗

輸出高

千二百四十六万六千七百三拾弗

合計

三千四百四十二万六千三百二十九弗

又詳細ニ之レラ分別スレハ

千八百七拾六年輸入之部

水綿織物

七百七十四万七千百三十八弗

毛織物

二百五十三万二千百五十二弗

毛木綿

五十九万三千九百二十弗

交織物

六拾二万六千八百八十六弗

金屬

五万九千九百五十九弗

武器類

四百二十五万五千二百二十八弗

外國產

三百三万四千五百九十七弗

雜品

千八百八十四万八千八百八十弗

合計

千八百七十五年輸入ノ部

千八百七十五年輸入ノ部

水綿織物

七百二十九万九千六百三弗

毛織物	二百八十六萬七千五百四十三弗
毛木綿	百七萬二千二百九十二弗
交織物	六十五萬五千四百八弗
金屬	七百萬九千九百六十弗
外國產	三百萬六千五百八十三弗
雜品	四百二千五百二十弗
東洋產	二千九百九十五萬三千九百九弗
雜品	四百二千五百二十弗
武器類	百九十九萬二千二百七十一弗
合計	千八百七十六年輸出部
生糸	千三百十九萬千七百十弗
蚕卵紙	百九十九萬二千二百七十一弗

茶	三百四十七萬三千百七十八弗
銅	十五萬四千三弗
繭	四十七萬五千二百九十六弗
漆器	九萬二千四百八十四弗
煙草	三萬四千六百二十二弗
木蠟	六千五百三拾弗
樟腦	千七百八十九弗
石炭	一萬千五百二十一弗
乾魚	二十七萬九千四百九十五弗
雜品	百八十八萬八千九百八十弗

合計 二千四百四十三萬千八百七十九弗  
千八百七拾五年輸出ノ部

生糸 五百四十二萬四千九百十六弗

蚕卵紙 四十七萬四千九百二十一弗

茶 四百八十一萬三千四百五十八弗

銅 拾八萬四千七百十弗

繭 二拾四萬八千四百十六弗

漆器 十二萬八千三百三拾四弗

煙草 四萬三千九百二十五弗

木蠟 二千六百四十弗

樟腦 七百二十九弗

石炭 二萬三千九百五十七弗

乾魚 十五萬三千四百十四弗

雜品 九十六萬八千三十九弗

合計 千二百四十六萬六千七百三十一弗

輸入之部

水綿織物 增高四拾四萬七千五百三十五弗

毛織物 減高三拾三萬五千三百九十一弗

毛木綿 減高四十七萬八千三百七十二弗

交織物 減高二萬八千五百二十二弗

金屬

武器類 增高九千四百三十九弗  
 外國産雜品 減高二百七十五万四千七百三拾二弗  
 東洋産雜品 增高二万八千十四弗

輸出ノ部

生糸 增高七百七十六万六千七百九十四弗  
 蚕卵紙 增高千四十二万七千三百五十弗  
 茶 減高千三十四万二千八百八十弗  
 銅 減高三万七百七弗  
 繭 增高二十二万六千八百八十弗  
 漆器 減高三万五千八百五十弗

煙草 減高九千三百三弗  
 蠟 增高三千八百九十弗  
 樟腦 增高千六拾弗  
 石炭 減高一万二千四百三十六弗  
 乾魚 增高十二万六千八十一弗  
 雜品 增高八十三万五千九百四拾一弗

但シ千八百七十五年間ニ於テハ樟腦ノ輸出  
 高千弗以下ニ止マリシヲ以テ今年ノ表中別  
 ニ之レカ項ヲ設ケスレテ雜品ノ部ニ集入レ  
 幾許額ナリシカラ示サバリンガ前表記載ノ

如ク今年ノ輸出高ハ七百二十九弗ナリシ  
右ノ如ク千八百七十六年ノ輸出高ト千八百七  
十五年ノ分トヲ比較スレバ千八百七十六年ノ  
減高三百一十二千二十九弗ニシテ又千八百  
七十六年ノ輸出高ト千八百七十五年ノ分トヲ  
比較スレバ千八百七十六年ノ增高實ニ八百九  
拾六万五千百四十九弗ナリ  
前書千八百七十六年ノ輸入減高三百拾一万二  
千二十九弗ノ内真ニ本港ノ貿易上減少ニ屬ス  
ルモノハ僅ニ二十六万八百五弗而已其然ル所

以ノモノハ他ナシ千八百七十五年ニ於テハ官  
用品ノ價三百一十一万九千五百三十五弗ナリシ  
が千八百七十六年ニ至テハ其高僅ニ六拾二万  
千二百八拾四弗ニシテ即チ前書ヨリハ二百四  
十九万八千二百五十一弗ノ減高ヲ生スレハナ  
リ  
余昨年ノ報告書中ニ於テ同年ノ輸入商況不景  
氣ノ狀由テ記載セシトアリシガ果シテ此報告  
書中載スル所ノ輸入貿易高ニ依リ之レヲ視レ  
ハ余ガ當時辨論セシ所ノモノ全ク無根ノ妄測



ヨリ出タルモノニアラザルヲ証スルニ足ラ  
ント思フ抑モ本港ノ市場タルヤ極メテ狹隘ナ  
ルヲ以テ衆庶互ニ大業ヲ企テント欲スルモ到  
底危険ヲ招クニ過キサル而已獨リ當港ニ限ラ  
ズ狹隘ナル市場皆斯クノ如シト魚氏殊ニ當港  
ノ如ク土着商賈ノ得テ使用スベキ資本ニ至リ  
テハ一般ノ商業ニ比スレハ極メテ少ナルモ  
ノニ於テハ尚然リトス蓋シ本港諸商人及ニ輸  
入主タル者此理由ヲ察知セサルモノ之レナカ  
ルヘシ

尤モ昨年ノ輸入貿易ノ減少スルヲ夫レ前頭ノ  
如シト魚氏細心以テ其全局ノ結果ヲ回顧セハ  
概スルニ之レが貿易上一層ノ満足ヲ与ヘタル  
モノニシテ當ニ諸般ノ輸入品ヨリ利益ヲ占メ  
得タル而已ナラス俛セテ昨年ノ輸入品ハ重大  
ノ損失ヲ免レタルト云フモ敢テ過辭ニアラサ  
ルト思フナリ余ガ今云フ所ノ輸入品トハ今年  
ノ末ニ至リ幾許ノ品類<sup>類</sup>残りタルカラ此報告書  
ニ於テ辯論スルハ余ノ難シトスル処ナルヲ以  
テ斯ク云フナリ

夫レ商人ノ物品ヲ<sup>鬻</sup>賣スルニ當リテヤ固ヨリ  
胸中異種異様ノ思慮ナカルベカラス乃チ甲高  
ハ其荷物ノ著陸スルヤ蓋シ些少ノ損失ヲ受ル  
モ直チニ之レヲ販賣ニ付セントス然ルニ乙高  
ハ更ニ之レト方向ヲ異ニシ充分ノ時機ニ會セ  
サレハ容易ニ之レヲ賣却スルヲ肯セザルナ  
リ知ラスヤ之レカ機會ヲ得ントヲ欲シ却テ一  
段ノ損失ヲ招クモノ勢カラザルヲ而シテ余カ  
聞ク処ノ如クナレバ一度賣ルヲ拒ミタル商  
品ニ至リテハ偶然ノ好機ニ會スルニアラザル

ヨリハ再ニ良價ヲ得ルノ難キハ其例常ニ十中  
ノ八九ニ居レリト  
既ニ前文ニ記載シタル輸入貿易高ニ付評論  
下スノ前ニ當テ先ツ昨年ノ如キハ諸般ノ輸入  
主タル者ニ取り嘉歲タリシ所以ノ理ヲ查明ス  
ルモ亦可ナラズヤ  
夫レ昨年中前六ヶ月間ノ輸入貿易ノ如キハ甚  
ク萎靡ノ形狀ヲ現ハシタルモノト云フベシ是  
レ乃チ本國市場ニ於テ生糸ノ價ニ下落セシヲ  
リ自然本港同品ノ輸出上ニ影響ヲ及ボシ随テ

當國ニ於テハ外國品買得ノ金カヲ減却セルニ  
依ルモノニシテ之レヲ要スルニ土着商人ノ掌  
中ニ貨幣ノ集来スルノ前年ノ如クナラザリシ  
ヲ以テ又前年ノ如ク商品ヲ購買スルニ由テカ  
リシト云フニ過キカルナリ  
然リ而シテ又茲ニ一事情アリ乃チ洋銀下落ノ  
了是レナリ之レガ為ノ一時ハ人々頗アル恐怖  
ノ景況ヲ醸成シ披見後六ヶ月拂ノ手形ノ如キ  
ハ其為換相場三「シ」ルリン「シ」六「ペ」ンス替若シク  
ハ尚オ下落セル「ト」ノ恐レヲ抱クニ至レリ是「シ」

以テ凡ソ深慮アル者ハ皆以為ラク今ヤ商品ヲ  
本港市場ニ回送シ来ルモ其代金ヲ收領スルノ  
日ニ方リ為換相場ノ高低如何ヲ豫知スベカラ  
ザルナリ果シテ然ラバ斯ル危険ノ時ニ際シ敢  
テ輕忽ノ取引ヲナス可ラスト是レ實ニ余カ識  
知スル處ニシテ是レガ為ノ商品ノ輸入上ニ滞  
滯ヲ来タシタルモ亦鮮クナラザリシナリ  
然ルニ歐洲ニ於テ生糸ノ收獲凶歉ナリシヨリ  
自然本港及ビ支那ニ在テ之レヲ買収セシ高頗  
フル巨大ニ至リタリト雖モ諸銀行共其之レニ

應スヘキ豫備ナカリシヲ以テ大ニ貨幣ノ欠乏  
ヲ起シ忽チ為換相場騰貴シテ三月立相場三  
ルリンク九トベシ半替ノ處四「ルリンク」六トベ  
シスニ至レリ而レテ爾來引續キ其浮沈昂低亦  
甚シク仮令此相場一ニ之レ定マラサリト雖  
氏概スルニ其騰貴人ノ意表ニ出レテ以テ隨テ  
商品輸入ノ通路ヲ開キ日本商人モ亦更ニ其買  
得上ニ一層ノ勢カラ加ヘタリキ余ガ聞ク處ニ  
抑レハ全年間一時輸入商人ノ氣配ノ強カリシ  
ハ曾テ數年間見ザリシ処ナリト云フ

英國市場產出ノ景況ハ次第ニ萎靡シ而シテ第  
七月ニ至リテハ實ニ其衰頽ノ極点ニ達シタル  
モノ、如クナリシガ爾來漸ク挽回シテ昨年末  
ニ及ンテ殆ンド其舊勢ヲ恢復シタリ  
凡ソ此等百ノ事情交々相聯絡シテ以テ本港輸  
入貿易ヲシテ利益ヲ得セシメタリト雖モ其  
年末ニ至リテハ又商品ノ輸入甚タ多キニ過キ  
為ノニ不景氣ヲ醸セシハ蓋シ勢ノ然ラシムル  
處ニシテ又偶然ニアラザルナリ  
前表中掲載セシ諸輸入品ノ増減ニ付聊カ左ニ

辨論スル処アラントス

木綿糸ノ事 該品ノ輸入ハ千八百七十五年ニ於テ頗ル増加セシニ復タ昨七十六年ニ至リテハ尚オ一層ノ多キヲ加ヘ乃チ七十五年ノ上ニ出ツルコト一万二千二百八十七擔（一擔ハ我拾六貫ニシテ價モ頗フル貴ク一時ハ其輸入甚タ多キニ過キシヲ以テ供給需用ノ間稍々不平均ヲ生スルニ至レリ

金巾ノ事 該品ノ輸入増加セシコト三百余萬碼（一碼ハ我曲尺三尺一分一釐）ニシテ前年ニ退却セル位置ヲ回復セシモノト云フベシ然レモ

余ハ此増加ヲ以テ同品貿易ノ持進セル徵候ト考ヘナサス其然ル所以ノモノハ他ナシ昨年末ニ至テ賣捌残品ノ多キハ實ニ千八百七十五年年末ノ比ニアラスレテ全ク日本商人ノ之ヲ買得セシコト大ニ其國人ノ需用ニ超過セルノ証跡ナキニシモアラサレバナリ

小巾金巾ハ就ラハ別ニ評議ノ要スベキナシト 雖凡雲齋木綿ハ前年ノ輸入高一万二千二百三十五弗ナリレガ昨年ハ三万七千五百四十一弗

ノ増加アリ是レ蓋シ國內騷乱ノ為メニ政府之  
レヲ要スルノ急切ナルニ由リシモノナラン  
更紗ノ事 該品ノ輸入ハ一割七分ノ減サヲ生  
セリ然レモ前年輸入ノ多キハ過キシヲ考フレ  
ハ此減少ハ敢テ驚クニ足ラザルナリ尤モ新模様  
品ノ輸入ニハ常ニ陪獲<sup>獲</sup>スベキ危険ノ一事ヲ參  
考スレハ同品ノ取引ハ頗フル不満足ノモノト  
想像セズレハアルベカラス

水綿孺子ノ事 該品ノ輸入ハ稍々減少セリ然  
レモ其價值ニ至リテハ此新模様品輸入ニ陪獲  
スベキ危険ヲ參酌スレバ又不満足ナリシト云  
フベシ

水綿縷糸ノ事 該品ハ千八百七十五年ノ輸入  
報告書中ニ於テ之レヲ外國產雜品ノ内ニ算入  
セリトモ昨年ヨリ之レヲ水綿織物ノ部ニ加  
入セリ抑モ該品ノ輸入高ハ千八百七十五年中  
八千八拾九弗ニ出テザリシモ千八百七十六年  
ニハ増シテ一万九千八百二十八弗ニ至レリ  
漆金巾及ヒ白綾金巾ノ事 該品ノ輸入ハ僅カ  
ニ貳万千百七弗ニシテ之レヲ千八百七十五年

ノ輸入高十二万六千三百三十二弗ニ比スレバ  
著大ノ減少ヲ来セリ然ルニ英國ヨリノ回章ニ  
依テ管商局ヨリ報告ノ價額ヲ檢スルニ同品  
ノ回送高大ニ前年ニ超越セルヲ見ルヲ以テ今  
爰ニ之レヲ記シテ以テ此額ノ彼此相符合セザ  
ルヲ告ゲサルベカラス

唐棧ノ事 近来日本ニ於テ該品ヲ製造スル  
追々増加セントスルノ景況ハ既ニ今ヨリ三年  
以前余が報告セシ処ナリ然ルニ依然之レカ輸  
入ノ減落セザリシヲ以テ余ハ昨年モ其驚異ニ

堪ヘザル旨ヲ記セリ是ヲ以テ假令昨年ノ輸入  
高四万九千九百三十六弗ヲ以テ之レヲ前年ノ  
二拾五万七千九百十五弗ニ比スレバ著大ノ減  
落ヲ致シタルヲ見ルモ是レ理ノ當ニ然ラシ  
ルモノニシテ更ニ怪レムニ足ラストス而モ同  
品ノ價ハ非常ニ下落セシヲ以テ余ハ之レガ輸  
入主ニ取りテハ莫大ノ損失ヲ生セザルベカラ  
スト想像スルナリ顧フニ此輩ノ如キハ此衰状  
ヲ察知シテ後來ノ殷鑑トセズンバアルベカラ  
ザルナリ

毛織物ノ事 該品ノ輸入ハ三十三万五千三百  
九十一弗ヲ減少セリ之レ畢竟仁製縮緬吳呂ノ  
輸入高減落ノ大ナルニ因ルナリ  
縞吳呂ノ事 該品ノ輸入高ハ千八百七十五年  
ニハ十一万二千六百六十三弗ナリシガ千八百  
七十六年間にハ税関ノ輸出入表中全ク其輸入  
アルヲ見ズ  
コラシケツトノ事 該品ノ輸入モ復タ減少セ  
リ而レテ羽紗ノ如キハ僅ニ三千八百十二弗ノ  
小額ニ墮落セリ然ルニ羅紗ノ輸入高殆ント十

四万弗ノ増加ヲ生セシハ實ニ奇ト謂フベシ又  
綾吳呂ハ新規ノ輸入物ニアラスト雖モ其高別ニ  
一万八千九百四十九弗ニ至レリ  
毛織唐襪ノ事 該品ノ輸入七万七百四十一弗  
ニ出タリ然レ斤余想フニ是レ決レテ新形織ノ  
輸入ニアラスレテ從來輸入ノヨラスト此歟若シ  
クハ木綿織唐襪ニ擬織シタルモノナルベシト  
ス  
前文ニ記載セシ羅紗輸入ノ増加ヲ生セシ原因  
タルヤ蓋シ前年輸入ノ寡キニ過キシト政府要



求ノ多キトニ由ルモノトス然レ氏余ヲ以テ之  
レヲ視ルニ此貿易ハ益々振起セルモノト云フ  
ベカラス恐ラクハ日本人ハ能ク上等品ニ良價  
ヲ拂フノカニ乏シク其上等品ヲ鬻クモ彼ノ下  
等品ニシテ漸ク羅紗ノ目名中ニ入ルベキモノ  
ニ比スレハ其利益却テ少ナルノ恐アリ  
アラシケツトハ殆レドニ割五分ノ減少アリタ  
リト魚氏前年ノ殘品多クハ今既ニ賣捌ケタル  
カ故ニ昨年ヨリモ遙カニ好景氣ナルカ如シト  
魚氏想フニ衆商相競フテ之レヲ賣ラントスル

ノ勢ナルガ故ニ為メニ射利ノ機會ヲ破却スル  
ニ至ラン

毛木綿文織物ノ事 該品ノ輸入高四十七万八  
千三百七十二弗ノ減少ヲ生セリ是レ專ラ「ル」ス  
トル及ヒ「カ」ルレシノ輸入減落セルニ由ルモノ  
ニシテ該二品ハ漸ク今八百七十五年ノ三分一  
ニ過キス但シ今八百七十五年ノ輸入ノ如キハ  
實ニ夥大ニシテ余ハ其利益ノ永遠ニ保スベカ  
ラザルヲ知レリ又毛綿子ノ如キ其輸入次第ニ  
増進スルモノニ至リテハ其勢黒「ル」ストルノ入

路ヲ妨クベキヲ思ヒバ右輸入高ノ減落ヲ見ル  
モ敢テ驚クニ足ラザルナリ

金屬ノ事 該品ニ付テハ僅カニ二三ノ附言ヲ  
要スル而已乃チ<sup>熟</sup>鐵品ノ輸入ハ一万八千餘擔  
ノ減少アリ然ルニ鐵塊ハ一万四千擔余ヲ増加  
セリ想フニ此鐵塊ハ多クハ昨年中頗フルタク  
販賣アリタル古繩鐵ヲ以テ製造シタルモノニ  
シテ之レヲ分解セバ多少釘鉄ノ用ニ供スベキ  
モノアラシ

武器是ニ彈藥ノ事

右ハ獨リ非常ノ事件アル

時ニ當リ之レヲ輸入スルノミ故ニ將來ニ至リ

テハ別ニ項ヲ分ツテ掲載スヘシ

外國產雜品ノ事 該品ハ千八百七十五年間ニ

ハ七百万九千九百六十弗ナリシカ頃ニ減シテ

四百二十五万五千二百二十八弗ニ至レリ尤モ

千八百七十五年ノ如キハ右<sup>全</sup>金額ノ内政府ノ公

用品三百十一万九千五百三十五年<sup>半</sup>ノ多キヲ占

メタリシカ昨七十六年ニ至リテハ僅カニ六十

二万五千二百八十四弗ヲ出テザリシナリ

右項中各種ノ物品輸入高千八百七十五年ニ比

スレハ盛衰増減モ亦種々ナリト虽モ概スルニ  
今其附言ヲ要スベキモノ只一二ニ過キザル而  
己乃チ余カ茲ニ欣然トシテ言ハント欲スル所  
ノモノアリ他ナシ洋書輸入ノ増加是レナリ又目  
下日本書林到處翻譯書(和譯)アラザルハナシ然  
ルニ日本著述ノ原本ニシテ日常ノ事物ヲ論ス  
ル者ノ如キハ之レヲ得ント欲シテ之レヲ採ル  
ニ余ニ示スニ洋籍翻譯ノ数本ニ以テシ農事ヲ  
ヲ論説スル日本ノ原書一本タモ得ガリシ以テ  
知ルベキナリ

水綿絹文織物ノ事 該品ハ千八百七十五年ノ  
輸入高十三万六千二百九十五弗ナリシカ千八  
百七十六年ハ減シテ四万二千二百十三弗ニ至レ  
リ是レ蓋シ千八百七十五年ニハ本港絹糸ノ相  
場下落セシヲ以テ該商賣ノ需用ハ日本機杼ヨ  
リ之レニ充備スルヲ得タルニ外ナラザルナリ  
蝙蝠傘ノ事 該品ノ輸入ハ昨年中六割ノ増加  
ヲ生シ製造蝙蝠傘ハ殆ント四割ノ減少ヲ来セ  
リ是レ乃チ近來日本人カ斯ル有用ノ品物製造  
ニ着手セシヲ証明スルニ足ル若シ或ヒハ之レ

ヲ疑フ者アルモ試ミニ東京繁栄ノ街衢ヲ通歩  
セハ現ニ此業ニ従事スル者多キヲ以テ立刻ニ  
其疑團ヲ氷解スベキナリ蓋シ此製造ノ如斯盛  
大ナル所以ノモノハ近時香港ニ於テ日本製造  
ノ蝙蝠傘ヲ要求スルヲ頗フル多キカ故ナリ尤  
モ該地ニ於テモ蝙蝠傘ヲ製造スルト虽モ此等  
ハ多ク輸出品トナルナリ

東洋産雜品ノ事 該品ノ輸入ハ僅少ニ減少セリ

但シ此減少中砂糖ヲ以テ最大トス

余ハ今輸出品中生糸 蚕卵紙及ヒ茶ノ如キ重モ

ナル物品ノ商況ヲ左ニ概論セン

抑昨年糸價ノ昂低ノ如キハ蓋シ前年ノ比スベ

キモノニアラスレテ其氣配ノ強カリシハ未タ

曾テ見ザル處ノモノナルカ故ニ之レカ商業ニ

従事スル者ハ須ラク記憶スベキノ年ナルベシ

抑モ千八百七十六年ノ初頭ニ於テハ生糸極メ

テ不景氣ニシテ市價ノ低下ナルヲ僅カニ其産

出ノ現價ヲ償フニ過スト虽モ尚オ之レヲ當時

歐洲ノ廉價ニ比較シ来ツテ就<sup>孰</sup>レカ貴就<sup>孰</sup>レカ廉

ナルヲ云フノ勢アリ且ツ昨年十一月中買入糸

ノ如キハ尚オ一層賤價ナリシト虽モ英國市場ニ達スルノ日ニ當リテハ該地一般其不景氣ヲ告ケ乃チ世間ノ流行毛織物ニ移リ絹布ヲ願ミサルニ至リシヨリ生糸先ニ製織品共賣捌殘品市場ニ充滿シ之レカ為メ製織者ハ大ニ勢ヲ得テ生糸持主ヲシテ数次其價ヲ減セシムルニ至リ此等ノ事情ハ本港輸出人ノ熟知セシ處ナリ一月ニハ僅カニ提糸ノ需用ヲ加ヘ一擔ニ付十兩乃至十五年ヲ騰貴シ第二号上等前橋産ノ如キハ當時四百五十兩乃至四百六十兩ニ至レリ但

シ當時生糸景況ノ探偵ハ概テ皆里温ノ市場ヨリ来レリ是レ畢竟該市場ニ於テ本地生糸ノ相場最下ノ点ニ墮落シタルノ説行ハレタルニ因レリ實ニ此月末ニ至リテハ賣買全ク地ニ落チ且ツ大州有名ノ生糸商社ノ破産ニ依リ一層不安ノ思ヲ醸成セリ然レハ本地ニ於テハ其價ニ依然舊位ニ止マレリ然ルニ内國需用頗フル多クシテ之レカ供給ヲ本地ニ需ムルモノ鮮クナラサリシヲ以テ當時上等品ハ大ニ缺乏セリ當時生糸ノ相場即チ

左ノ如シ

前橋中等

四百弗乃至四百二十弗

奥州掛田極上等

五百五十弗乃至五百七十弗

右ノ他奥州産極上等

五百弗乃至五百二十弗

濱付

四百弗乃至四百二十弗

當時本港中生糸残品千百俵ナリシ

二月中ハ生糸ノ持主ハ良價ヲ要求スルノ一層

急ナルニ至レリ然ルニ買主ハ多カラステ其

捌口ハ最モ狭隘ナリシト虽モ尚オ之ヲ賣ルコ

ト肯ンセサルノ色ヲ表ハセシヲ以テ為ノニ一

擔ニ付十五弗騰貴ヲ来セリ

濱付及ヒ奥州糸ハ其月末ニ及ンテ漸ク良景気

ヲ添ヘ殊ニ濱付糸ハ價格ノ廉賤ナルヲ以テ買

主ノ耳目ヲ專ラ此一方ニ導ク處トナリタリ

三月ニ至リ本港ニ於テハ各種ノ提糸共尚カ一

擔ニ付十弗ノ騰貴ヲ致セリト雖モ英國ノ市價

ハ益々下落ノ勢アリシカ故ニ其賣買気配ニ至

リテハ純乎タル投機高ニ外ナラザリシ

然レモ其景気ハ前月ニ比スレハ更ニ一層ノ繁

昌ヲ益セリ此時ニ當リテ改州市場ノ不景気タ

ルヤ里温ニ於テハ最上日本投糸ノ價ハ漸ク四  
十四「フラン」位ナリシニ却テ下才品ニ至リテ  
ハ四十二三「フラン」クテ以テ之ヲ販賣スルノ容  
易ナリシ又倫敦ニ於テハ最上前橋糸十四「シ  
リング」六「ペン」スヲ以テ最高價トシ下等糸ニ至リ  
テハ十三「シリング」三「ペン」スヲ以テ之ヲ要求  
スルモノ却テ多キニ居レリ  
如此糸價ヲ比較シ来ル所以ノモノハ他ナシ抑  
モ之レカ製織者ノ重大目的トスル慶ハ品價ニ  
アルヲ示サンカ為メナリ然ルニ糸價ノ下落如

此シテ殆ント彼等ノ意表ニ出テタルヲ以テ之  
レガ費消ノ頓ニ増加セザリシハ又奇ト云フベ  
キナリ  
四五ノ兩月ハ頓ル不景氣ニシテ良質ノ投糸  
市場ニナク僅ニサ々ノ取引アリシハ獨リ奥州  
糸ニ限レル而已  
然ルニ五月末ニ至リ電報ノ来ルアツテ欧州生  
糸収獲ノ良シカラザル旨ヲ報セリ而ルモ尚ホ  
買入ヲ恐ル、ノ色アリテ僅ニ奥州糸取引アリ  
自他ハ賣買ナカリシナリ

六月ニ至リ奥州糸ハ一擔ニ付二十弗ノ騰貴ヲ  
致シタリシト雖モ其取引ノ如キハ尚依然トシ  
テ寥々タリシ又同月十八日ニ至リテハ例年ヨ  
リ較々早ク前橋糸二十五俵本港ニ到達スルニ  
會セリ是レ新生糸季節ノ初端ナリ

サテ此ノ糸ノ性質ハ良強ニシテ稍々太シト虽モ例  
年最初着港ノ糸ノ如ク混糸ハ甚々少カリシヲ  
以テ直キニ四百五十五弗ヲ以テ買主アリタリ  
抑モ新糸ノ最初ニシテ此價値ヲ得ルハ甚々當  
價ト云フベクシテ又此時ニ於テハ不日糸價ノ

大麥草ヲ束サレテニ付テハ更ニ疑ヲ容ル、處

ナカリシヲ示スニ足ルベシ

前文記スル處ヲ以テ視レハ昨年前六ヶ月ノ生糸

賣買ハ微々寥々タルモノナリ尤モ最後古糸ノ

回漕ハ僥倖ニシテ改州時價ノ騰貴ニ際シ頗ル

良價ヲ占メタリシト虽モ概スルニ甚々不景

況ナリシト云フベシ

千八百七十六年六月三十日迄六ヶ月間ノ輸出

高ハ千三百三十九擔八十斤此價百五十二万五

千四百六弗ナリ然ルニ千八百七十五年同時間



ノ輸出高ハ三千九百五十九擔二十三斤此價更  
十六万七千三百三十弗ナリ也  
此ボノ價額減少ノ原因ニ就テハ實ニ辨解ヲ待  
クスシテ明ラカナリ即チ千八百七十五年ノ前  
半年ニ比シテ七十六年同時間ノ輸出高減少ス  
ルヲ斯ノ如クナリシ所以ノモノハ日本ニ於テ  
生糸ノ消費大ニ増加セシト横濱糸價ノ廉價<sup>賤</sup>ニ  
シテ之レヲ賣ルモ十分ノ利益アラザルヨリ内  
地ニ返送スルノ量頗<sup>ル</sup>多カリシトニ因ル是  
ニ由テ之レヲ觀レハ千八百七十六年六月下旬

ニ至ル迄ハ生糸平均ノ市價廉賤ニシテ千八百  
七十五年同時間ノ平均糸價下ニ出タルヤ明ラカ  
ナリ  
佛蘭西生糸收穫ノ殆ント烏有ニ屬シ以太利ノ  
收穫モ亦恐ラクハ凶歉ナラントノ風説ハ五月  
中ニ已ニ本港商人ノ知ル所トナレリ然レモ此  
時ニ至ルマテハ之レカ製織者ハ更ニ此ニ耳目  
ヲ傾向スルモノナク又政州ニテモ生糸ノ價額  
格別ノ変更ナカリシヲ以テ本港ニ於テハ六月  
十八日ニ四百五十五弗以上ノ相場ヲ以テ前橋

糸ノ市場ヲ関カシメタリ  
此時ニ際シ曾テ数年ノ間萎靡睡眠ノ姿ニ属シタリ  
投機商賣忽焉トシテ立刻ニ勃興シタリ乃チ龍敦  
ノ財主ハ囊中貨幣ニ充足シ之レヲ尋常ノ商路  
ニ轉用スルモ多クハ掛念ヲ免レ難キカ故ニ永  
ク躊躇シテ方向ヲ定メサリシモ一朝此生糸ノ  
景気ヲ見ルヤ之レカ資金ヲ入ルノ良機會ト  
思考セシヨリ一時盛大ノ賣買ヲ喚起スルニ至  
レリ  
余ハ今新糸初着以來ノ景況ヲ逐次ニ掲載シ以

テ此貿易歴記中未曾有ナル時價ノ騰貴ヲ示サ  
シトス抑モ六月中本港ニ到着セシ次回ノ荷物  
ハ第二号半乃至第三号ノ前橋糸七十五俵ナリ  
シカ其價一擔ニ付二十五弗ノ騰貴ヲ生シ乃チ  
四百八十弗ニテ取引アリ又月末ニ臨ミ第二号  
半前橋糸ヲ賣買スルニ五百五十弗ヲ以テセリ  
而シテ當時已ニ本港市場ニハ絶テ残品ナカリ  
シ  
七月買主ハ皆新荷ノ着港ヲ渴望シ日本人ハ勉  
メテ市場需要ノ切急ニ備ヒ以テ壟斷ヲ私セシ

ト欲セリ此時ニ當リテ改州生糸ノ凶歉ニシテ  
其収獲三分ニテ減落セルノ報知該地ヨリ達ス  
ルヤ満街慶シテ生糸ヲ買ハント欲スルノ声  
ヲ聽カサルトナカリキ然ルニ其供給極メテ乏  
クシテ能ク其需要ニ適シ難キカ故ニ自然時價  
ノ騰貴ヲ起シ七月十八日ニハ其價左ノ如クニ  
至レリ

極上前橋糸

七百五十弗

第二号半前橋糸

六百七拾五弗乃至六百九拾弗

下等前橋糸

六百五拾弗乃至六百七拾弗

此時ニ方リ改州ト電線直接ノ通信新絶セシヨ  
リ之レヲ買主ハ該地景況ノ如何ヲ得テ知ル可  
カラズ全ク五里霧中ニテ以テ願フル不安  
ノ思ヲ起シ曩キニ本國ヨリ報送シ来レル所ノ  
非常高價ヲ以テ之ヲ買得セントテ欲セサリ  
斯ク賣買ノ路全ク壅塞セシヤ此間内地ヨリ荷  
物ノ着港極メテ許多ナリシヲ以テ為メ二月末  
ニ至リテハ五十弗乃至六十弗ノ下落ヲ引起セ  
リ  
此時ニ至ルバテ到着ノ俵數ヲ算スルニ四千個

以上ニ登レリ是レ此季節ノ尚ホ早キニ比較ス  
レハ其數モ亦例外ナリト云フベシ七月二十九  
日ニ於テ支那地方ヲ經テ潛ニ新報アリ曰ク電  
信中絶ノ間政州ニ於テ糸價ノ騰貴セシト違ハ  
ニ意想ノ外ニ出テタリト此時ニ當リテヤ假令  
二三ノ輸出主ハ尚ホ此報ヲ秘シテ機密中ニ置  
キシト雖モ到底蓄藏ノ全糸ヲ以テスルモ尚ホ  
之レカ需要ニ及ハサル遠カリニ而シテ彼ノ衰  
頹ノ時ニ際シ買込ミタル糸價ハ其翌日ニ至リテ  
忽チ良鴨ヲ得タルニ會シ以テ中等前橋産六百

三十弗乃至六百四十弗信州産ハ六百八十弗ニ  
騰貴セリ  
八月此月ノ初ノ一週間ニハ再ニ電信ノ直路開  
ケシヨリ英國市場ノ價ニハ絶ヘス昇騰ノ勢ア  
ルト一般人ノ知ル處トナリ横濱市場ノ元配益  
々強クシテ日本人ハ内地ヨリ輸送ノ生糸前橋  
下才七百五十弗極上品八百五十弗ヲ得タリ生  
糸相場ノ騰貴斯ノ如クナリシニ為換相場モ七  
月下半ノ相場ニ比スレハ一割ノ騰貴ヲ致セル  
ヲ以テ其價值ニ至リテハ更ニ一層ノ高貴ヲ加

ヘリ之カ為メ稍々気配、後ミタルヲ以テ一時  
四十弗乃至五十弗ノ下落ヲ生セリト虽氏又遠  
カニ其舊位ニ進シテ二十弗ノ騰貴ヲ致シ此相  
場ヲ以テ多分ノ賣買アリ抑モ此季節ノ初メ  
ヨリ八月月末ニ至ル迄其取引高九千六百六十  
八俵ノ巨數ナリシハ實ニ驚愕ニ堪ヘサルモノ  
ニシテ市場ハ底ヲ拂フテ一モ残品ナキニ至レ  
リ而シテ當時ノ時價左ノ如シ  
極上提糸 八百弗乃至八百二十弗  
中オニ号半提糸 七百六十弗乃至七百八十弗

三号提糸

七百二十弗乃至七百四十弗

夫レ時價ノ萎靡傾落如此甚シキハ須ラク此ニ  
其原由ヲ記セサルヘカラス是レ乃チ為換相場  
ノ非常ニ騰貴ヲ致セルニ由ルモノニシテ乃チ  
四「シ」リング「セ」ペン「ス」ニ至レリ此時ヲ以テ此  
一週年間相場ノ最高点ニ達シタルモノトス  
九月其需要尚ホ陸續トシテ更ニ減衰ノ色ナク  
各種ノ生糸ヲ要求シテ以テ之ヲ廻漕ニ付シ其  
價日々騰貴ノ勢アリシ此時ニ當リ為換相場大  
ニ下落セルヲ以テ為メニ買主ハ日本商人カ益

々欲スル處、洋銀ヲ以テ一層容易ニ之レカ要  
 求ニ應ズルヲ得タルヲ以テ月末ニ至ルマテ其  
 價ニ次第ニ騰貴シテ取引甚々盛ナリシ但シ月  
 末ノ相場即チ左ノ如シ

第一号投系

千二百弗

第一号及第二号投系

千四百弗乃至千七百七十弗

上等第二号投系

千百弗乃至千二百二十弗

上等第二号半投系

千六十弗乃至千八十弗

下等第三号及第四号投系

千弗乃至千四十弗

極上奥州産

千百弗

上等ヨリ中等奥州産

千五十弗乃至千八十弗

上等及極上掛田産

千百五十弗乃至千二百弗

中等及上等掛田産

千五十弗乃至千百弗

上等及極上演付

八百六十弗乃至八百九十弗

中等演付

八百二十弗乃至八百五十弗

日本紡絲

一等 量目十一デニール乃至十三デニール

千三百弗

二等 同

千二百五十弗

三等 量目十四デニール乃至十六デニール

千二百弗

七月一日ヨリ此ニ至テ取引ノ俵数一万四千二百

個ニ及ヘリ内一万千四百個ハ投糸ニシテ奥  
州絲及ヒ其他ノ種類ハ僅カニ二千八百俵ニ過キ  
ス

日本内國生糸ノ消費ハ輸出ノ急切ニシテ且ツ  
其高價ナルカ為メ嚮キニ妨遮セラレタリシガ  
此ニ至テ之レカ買主ハ今遠ニ本港市場ニ於テ  
下等生糸ノ買込ニ着手セリ是レ蓋シ各種ノ生  
糸動モスレバ盡ク改州へ積ミ輸ラレシテヲ恐  
レタルニ外ナラサリシナリ  
十月改州ノ治安ヲ攪擾スヘキ景況ヲ醸成セシ

ニヨリ各自大ニ不安ノ思ヲ起シ為メニ生糸ノ  
價ニ下落スルノ憂擔ニ付百二十弗ニ出デタリ  
市場ニハ残品頗ル多クシテ二千二百俵ニ及  
ヘリ

十一月英國市場ヨリ頗ル不祥ノ報知アリシ  
ヨリ之レガ商路ヲ壅塞シ其價值ハ頗ル下落シ  
テ左ニ掲ケルガ如クナリシト虽モ其取引ニ至  
テハ殆ント皆無ニ屬セリ

極上前橋糸  
二号半前橋糸

八百弗乃至八百四十弗  
七百弗乃至七百四十弗

下等前橋糸

六百弗乃至六百四十弗

十二月賣残高三千俵ニ及ヘリ而シテ尚ホ要求ノ乏キガ故ニ又五十弗乃至六十弗ノ下落ヲ生セリ但シ年末ニ至リテハ其價ヒ七月中ノ相場ト同一ナルニ至レリ

十二月三十一日迄後六ヶ月間ノ輸出高ヲ檢スレハ壹万五千七十八擔八十七斤ニシテ其價値千百六十六万六千三百四十弗ナリ然ルニ千八百七十五年ノ同時期ノ輸出高ハ七千八百五十四擔六十四斤ニシテ其價ヒ三百五十五万七千

五百八十六弗ナリシ

既ニ前文ニ記載シタル如ク昨年ノ生糸輸出全額ハ壹万八千四百八十八擔六十七斤ニシテ其價値千三百十九万七千七百十弗ナリ然ルニ千八百七十五年ノ輸出全高ハ壹万八千八百十三擔八十七斤ニシテ其價ヒ五百四十二万四千九百十六弗ナリ即チ其量目六千六百〇四擔八十斤其價値七百七十六万<sup>六</sup>千七百九十四弗ノ増加ヲ生セリ◎生糸高價ノ時ニ際シ回漕セルモノハ尚ホ船路ニアルノ量多カリシト虽氏改州ニ於



テハ俄然其價值下落セルニ依リ嚮ニ回漕シテ  
占收セル墜断、大和ヲシテ殆ト其得失ヲ平  
均シタルナルベシ又日本生絲商人モ此新季節  
ニ方リ最初ノ三ケ月中占握シタル大和ヲ大半  
擲却シ去レリト云フベシ何トナレバ九月中本  
地ノ相場最高ノ時ニ際シ此諸商人頻リニ上國  
ノ生糸ヲ買込ミタルハナリ  
抑モ此季節上國ノ農家及ヒ製絲家ニ取リテ  
ハ最モ幸福ノ時ナリシト云フベシ蓋シ之レカ  
為ノ大ニ次年ノ産生ヲ鼓舞スルニ至ルベシ殊

ニ細良ナル生糸ノ産出多カラシ是レ下等粗大  
ノモノ、如ク其相場ノ昇降裂シカラザレバナ  
リ  
日本紡絲ハ前年ヨリ更ニ多キヲ致セリ而シテ  
此季節間始終高價ヲ以テ直千ニ之ヲ賣捌キ得  
タルハ之レカ生産人ノ意気ヲシテ揚々タラシ  
メタルベシ  
千八百七十六年ノ生糸収獲ハ頗フル豊饒ニシ  
テ其輸出ノ増加ハ之レニ由テ以テ徴スベシ然  
レ氏新糸ノ價ニ甚タ貴重ナリシカ為メニ大ニ

古絲ヲ此ニ提出セシメ且ツ例年日本自國ノ用  
ニ供スベキモノニ至ルマデ皆網羅シテ歐洲市  
場ニ運送スルニ至リシヲ以テ又大ニ自國ノ消  
費ヲシテ流滞セシメタリキ

昨年ノ繭ハ其品質皆純良ナリシト虽氏其繰方  
ニ至テハ十分ノ改良ヲ遂ゲザリキ其然ル所以  
ノモノハ他ナシ市場ニ於テ生糸ノ要求急遽ナ  
リシヨリ其繰方ニ注意スルニ違アテス昼夜ノ  
差別ナク随テ繰レハ随テ之ヲ市場ニ送ラント  
スルノ勢アリシニ由ルモノニシテ是ニ由テ之

ヲ觀シハ不良ナル生糸ノ生産過大ナリシハ又  
喋々ヲ待タズシテ知ルベキナリ

蠶卵紙ノ事千八百七十六年ノ輸出全高八百〇  
五万八千五百二十五枚ノ多キニ及ニ其價值百  
九十万二千二百七十壹弗ナリ之レヲ千八百七  
十五年ノ輸出高七十二万七千四百六十三枚此ノ  
價ニ四十七万四千九百二十壹弗ニ比スレバ二  
十五万九千六百二十二枚此價ニ百四十二万七千三百  
五十弗ノ増加ヲ生セリ  
八月下旬ニ至リ始メテ伊太利ヨリ蠶卵紙ノ買

主横濱ニ到着セシト虽此僅々ノ注文ヲ齎シ未  
ルルノミ素ト彼輩ノ此地ニ渡来スルヤ大半投  
機商ニ出ルモノニシテ乃チ其目的ハ本港ノ蠶  
印紙前年ノ相場ノ如ク非常ニ下落スルニ至ル  
マデハ袖手之ヲ買ハザラント云フニアリ然ル  
ニ彼輩着港ノ前種々ノ事情發生スルアリテ其目  
的瓦解ニ屬セリ其然ル所以ヲモノハ本港在  
留政商及ヒ日本商ハ伊太利市場ニ於テ爾ノ價ヒノ  
貴キヲ觀察シ且ツ糸價ノ益々騰貴セシトスルノ  
景況ヲ探知シ豫メ内地ニ於テ大ニ蠶印紙買

収ノ約ヲ結ベリ殊ニ此才商人ノ如斯買込結約  
ヲナスヤ輸出ニ適スベキ蠶印紙百万枚ニ出テ  
スレテ此蠶紙ヲ得バ殆ト伊佛二國ノ需用ニ  
適合スルモノナルヲ知リシニ因ル  
此時ニ方リテ内地ノ蠶印紙製造人及ヒ養蠶家  
ハ前二ヶ年ノ如ク蠶印紙ヲ市場ニ投出スル  
ナカリシハ既ニ賣込ノ約ヲ結了セルニ由ルモ  
ノニシテ又之ヲ買込ミタル商賈ハ我掌中ニ之  
ヲ握リ縱ニ高價ヲ唱ヒテ伊商ノ目的ヲシテ逞  
フセシメサルヲ得タリ

十月下旬ニ至リ着港シタル蠶印紙ノ枚数ハ九  
十五万枚ニ及ベリ然レ本地市場ニ於テ的然  
タル賣買ナカリシハ賣買主雙方ノ間ニ價值ノ  
相違甚タ大ナルニ由レリ

伊商ハ十一月初旬ニ際シ寒季ノ接近スルヲ恐  
レ勢買ハザルヲ得ザル時ニ迫マリ終ニ著大ノ  
賣買ヲナセリ其價值極上奥州蠶印紙二弗二十  
五セント乃至三弗極上常州蠶印紙二弗七十五  
セント乃至三弗二十五セントニシテ榊川上等  
蠶印紙三弗九十セントニテ賣ラレタリ尤モ右

ノ如キハ二三苞ニ過ギサリシ而已

十一月十七日ヲ以テ三十六万枚ヲ回漕ニ付セ  
リ其價二弗二十五セント乃至二弗五十セント  
ニシテ其平均價格ハ此中間ニアリル未其價值  
次第ニ下落シ随テ賣買益々多カリシ而シテ  
十一月二十五日出帆米國郵船ノ如キハ五  
十萬枚ヲ積ミ去其價平均壹弗七十セントナリ

十一月下旬ニ於テハ全買込ノ枚数全高八十六  
萬枚ノ多キニ及ニ殘三十萬枚余中或ハ良品ノ

混スルアリト虽氏多クハ下等品ニシテ其價  
値凡ソ壹弗二十セントナリニ右残數ノ内二十  
七万枚ハ其持主ニ前金ヲ拂テ日本ノ一銀行ノ  
掌中ニ存セリ又其一部ハ乃チ十四万枚ハ本港  
ニ於テ九十セントト乃至壹弗四十セントノ相場  
ヲ以テ賣捌キ残品ハ盡ク内地へ返送ニ自國ノ  
用ニ供セリト云フ

此蠶印紙賣買ノ季節中新規ノ形状ヲ表シタル  
モノハ乃チ數名ノ日本商人本港ニ於テ蠶印紙  
ヲ賣ランヨリハ寧口之ヲ伊太利ニ提携シテ彼

ニ嚮カバ遙カニ利益ノ多カラントヲ望ミ諛固  
へ渡航セシト是レナリ若シ此輩ヲシテ冀望ヲ

誤ラガラシノナハ將來日本商人ガ以太利國ト  
直接ノ蠶紙商路ヲ開クニ至ラントハ期スヘキ  
ナリ

茶ノ事 千八百七十六年ノ輸出ハ拾壹万五千  
九百九拾四擔七斤此價ヒ三百四拾七万五千百  
七拾八弗ナリ之レヲ七十五年ノ輸出拾三万四  
千四百拾五擔六十七斤此價ヒ四百八拾壹万三  
千四百五拾八弗ニ比スレハ其量ハ壹万八千四

百二十志擔其價八百三拾四万。二百八十串ヲ  
減セリ其減落モ亦甚シト云フベシ今左ニ千八  
百七十六年間茶貿易ノ景況ヲ略說セン  
年首ニ茶買ノ茶質ハ純良ナルヨリ其價ヒ騰貴  
シ乃チ一擔ニ付キ中ホ品二十六串乃至二十九  
串自他ハ其品ホ依テ高低アリタリ  
抑モ初ノ合衆國ニ於テ茶稅再課ノ舉アラント  
ノ說行ナハレシヨリ遽ニ之ヲ買込ニ彼地ニ輸  
ラント欲スル者多ク市場ノ氣配為メニ強カリ  
シガ四月ニ至リテハ前日繁劇ノ取引ハ全ク地

ヲ拂ツテ消散セリ

五月ノ初端ニハ既ニ新茶着港シ其價值一擔ニ  
付キ四十二串乃至五十四串ノ相場ヲ以テ頃ニ  
之ヲ買フ者アリシ然ルニ示來新荷ノ増加スル  
ニ從ヒ其相場モ亦隨テ下落シ八月中旬頃ニ至  
リテハ中ホ品市場ニ充滿シ其價值一擔ニ付キ  
十九串乃至二十串ニ下レリ是レ茶價最モ廉賤  
ノ時ナリト云フヘシ  
然ルニ其輸出常ニ断スルヲナク十一月其高  
頗フル巨大ニ至レリ是レ必竟三艘ノ帆前船直

チニ紐育港ニ向ツテ出帆セシニ由レリ尔來年  
未ニ至リ茶市場ノ景況ノ如キハ往キニ新茶到  
着前賣買ノ狭少ナリシニ似タリ  
日本産茶家ハ益シ其製産ノ多キニ過キタルノ  
過失ヲ悟トリ加フルニ其製茶ノ次第ニ合衆国  
貴消者ノ愛顧ヲ失フベキヲ知レリ是ヲ以テ其  
摘葉ト乾燥方トニ更ニ一段ノ注意ヲ加ヘ勉メ  
テ前日ノ過ヲ改メシトニ注意セリ果シテ当季  
製茶ノ改良ヤル去ルニ季ニ製出セルモノ、以  
ニアラス蓋シ昨年合衆国市場於テ日本茶ヲ買

收シタル量ハ多キニ過キタルモノ、如シ而シ  
テ日本茶ハ其輸出獨リ訣国ニ止マルヲ以テ值  
テ本港ニ於テハ其價ヒ下落スルカ故ニ恐ラリ  
ハニ八百七十六年間ニハ茶木栽植ノ地面ヲ増  
加セザルヘシ現ニ日本諸商人云ク或ル地方ニ  
於テハ將來茶園ヲ衰シテ却テ他ノ一層所得ア  
ル田畝トナスコアルベシト  
曾テ支那茶師ノ教導ニ就テ製シタル日本黒茶  
ノ見本ヲ以テ品評ニ付セテレタリシト雖モ其  
評價タルヤ日本人ヲシテ大量ノ産製ヲ起サシ

ハルノ意ヲ觀發スルニ至ラシマス  
夫レ此茶葉クルマ美ハ乃チ美ナリト雖モ茶ヲ  
ハレテ更ニ何タル品味ヲモ帶ビス怡モ厦門産  
ノ下ボエ夫ニ類似スルモノニシテ倫敦市場ニ  
於テ其價值一磅ニ付凡ソ十<sup>」</sup>ペン<sup>」</sup>ス半乃至一<sup>」</sup>  
ルリング<sup>」</sup>又新約克ニ於テハ二十二<sup>」</sup>セント<sup>」</sup>乃至  
二十四<sup>」</sup>セント<sup>」</sup>ニ止マレリ  
日本商人ノ政府ノ庇蔭ヲ得テ新約克へ向テ製  
茶ヲ輸送セシモノアリシト雖モ該地ニ於ケル  
價值ノ如キハ甚タ不満足ニシテ再ヒ之レカ輸

出ヲ試ミシトスルノ景況ハ絶テ見ヘサル程ナ  
リシト云フ實ニ其損失ノ如キハ本港ニ於テ生  
ラ之レヲ外國人ニ賣テ得タラン市價ニ比較ス  
レハ十二万弗ニ余レリト云フ  
カルフアルニヤトノ貿易モ次第ニ衰状ヲ出現セ  
リ乃チ前年ハ茶箱ノ製稍々華美ノ漆塗箱ヲ好  
ミ又其仕立方ノ如キモ粧飾ヲ加フルヲ主トシ  
タレモ今ハ乃チ然ラス桑港ニ於テ重ナル輸入  
主タル者多クハ製造済ノ俚之ヲ輸入シ上<sup>」</sup>日  
本製粧飾紙ヲ取り之ヲ該地ニ仕立ルハ更ニ



其費用ノ廉下ナルヲ發見セリト云フ  
鐵道築造以來チカゴ府ハ四通五達中央 候地  
トナリ日本ヨリ直ニ諫府ニ田漕ノ茶二百五十  
万磅ニ出テタリ乃チ之ヲ全輸出高ニ比スレハ  
凡ソ一割<sup>+</sup>ナリ  
此一周茶期ノ景況ヲ概説スレハ千八百七十六  
年ノ末ニ方リテハ茶價ノ非常ニ廉賤ナリシ故  
ニ日本製茶ニ從事スル人自家ノ得失ニ着念ス  
ルアラバ大ヒニ今年第三摘葉ノ高ヲ制限スル  
ニ至ルベシ夫レ合衆國ノ市場タルヤ蓋シ毎歲

千八百万磅ノ輸入ヲ以テ充足ノ量トス苟モ之  
レヨリ超過スルイアラハ之レガ輸出主タル者  
ノ損失ナキヲ保ジ難キガ故ニ果シテ自今其輸  
出ノ減落ヲ見ルニ至ルヤ明ラカナリ今ヲ去ル  
千八百七十五年ヨリ千八百七十六年ニ至ルノ  
一周季ノ輸出高ヲ換スレバ二千五百五十万磅  
ナリ而シテ昨七十六年ヨリ七十七年ノ一周季  
輸出高ハ二千二百七十五万磅ニ至レリ是ニ因  
テ是レヲ觀レハ蓋シ当季日本ヨリ輸出高ハ仮  
令ニ千万磅ノ上ニ出ルイアルモ多カラザラニ

以上茶ノ輸出ボヲ記スルニ当リ所謂一季ト云  
フモノハ新茶到着ノ時日即チ五月一日ヨリ翌  
年同月同日マデノ間ヲ云ノモノニシテ前書一  
周季又ハ一季ト記セシモノ皆然リ  
前文ニ記載セル如ク輸出ノ減少ノ所以ヲ察ス  
ルニ蓋シ米同市場供給ノ過剰ニ由ルモノニシ  
テ之レカ價值ノ前年ヨリ下落スルヲ一割五分  
乃至二割ニ至リシモ亦此理由ニ出テシモノナ  
リ今此ニ左ニ一表ヲ掲載シ以テ千八百七十六  
年間毎月横濱ヨリ輸出セシ茶量ト全時間上下

中間ノ相場ヲ掲ケテ以テ其價ヒノ昂低ヲ示ス

貴 謝

間中 和 一 一 三 五 高 出 備

第 一 十 二 至 第 三 十 二 二 五 五

十 五 五

第 八 十 二 至 第 五 十 二 一 一 一 五 一

ス 〇 五 謝 跡 三 五 三 〇

第 一 十 二 至 第 三 十 二 〇 八 六 〇

第 六 十 二 至 第 四 十 二 二 五 一 五 〇

第 二 十 二 至 第 十 二 〇 八 〇 〇

第 十 二 至 第 八 十 三 〇 〇 〇 〇

第 二

第 三 十 二 至 第 十 二 〇 八 〇 〇 〇

第 一

第 四 十 二 至 第 二 十 二 〇 八 〇 〇 〇

第 三 十 二 至 第 一 十 二 三 五 〇 〇 〇

第 二 十 二 至 第 十 二 二 四 三 〇 〇

凡 當 八 指 強 地 子 郎 〇 八 〇 〇 〇

是 4 八 強 〇 謝 〇 〇 〇

謝 六 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

千八百七十六年	毎月輸出高	志ビエルニ付中間ノ時價	騰貴	下落	
一月	一,〇七五,五九二	二十 <sup>五</sup> 弗乃至二十九弗			
二月	九〇九,五 <sup>五</sup> 七				
三月	四四二,九一一	二十五弗乃至二十八弗		一弗	
四月	二六一,三九三	相場立タス			古茶輸出期ノ終
五月	六九〇,六八八	二十九弗乃至三十一弗			新茶季節ノ初
六月	一,七七九,一九二	二十四弗乃至二十六弗		五弗	
七月	二,七七四,八七九	二十弗乃至二十二弗		四弗	
八月	二,一四八,〇〇三	十八弗乃至二十弗		二弗	
九月	一,一五一,〇八〇	二十一弗乃至二十三弗	三弗		
十月	一,三八九,七三七	二十二弗乃至二十四弗	一弗		
十一月	二,七三三,八五三	二十一弗乃至二十三弗		一弗	
十二月	四七二,三四二	十九弗乃至二十二弗		一弗	
輸出高合計一五,八二九,三二七		但シ此總計ハ當地税関ノ報告ニ載スル高ヨリ稍々超越スト其其他時價ノ昇降等ニ至リテハ本港ニ於テ所謂市場ノ本價ト認ムル所ノ中間ノ時價ト称スルモノニ能ク符合ス			

船舶出入之事 通常英船八千八百七十五年二  
 比スレハ其入港港万八千六百八十五噸其出港  
 二万四千四百八十三噸ノ増加アリ尤ニ郵便汽  
 船ハ大低前年ノ如クニシテ大差ナシ  
 又通常米船ノ出入噸数ヲ檢スルニ去ル千八百  
 七十五年間其入港港万四千六百九十二噸其出  
 港港万三千六百三十三噸ナリシニ昨七十六年  
 ハ入港港万六千五百八十二噸出港港万八千六  
 百九十噸ニシテ増加ヲ生セリ然レ蒸気船ノ減  
 少ハ頗ル多クシテ即チ千八百七十五年ノ出

茶 下

第一

茶 出 港

茶 出 港

第二

第三

第四

第五

第六

茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港  
 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港  
 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港  
 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港 茶 出 港

入船数及々其噸数ヲ挙ケレハ入港七十九艘此  
噸数二十二万八千七百七十壹噸出港七十七艘  
此噸数二十二万五千五百五十四噸ナリ然ルニ昨七  
十六年ニ於テハ入港三十七艘此噸数十三万三  
千九百三十壹噸出港三十九艘此噸数十四万五千  
五十四噸ナリ  
出入船舶及々噸数ノ如此夫々減少セシ所以  
モノハ「ゴスタリカ」<sup>九</sup>「玄海」<sup>一</sup>「オレコニヤニ」<sup>九</sup>「名護屋」<sup>一</sup>  
ル「デエー」<sup>九</sup>「廣島」<sup>一</sup>ナル汽船三艘ヲ米國ヨリ日本  
國旗ニ變更シタルニ由ル而シテ近年米國郵船ノ

賣渡國旗變更ノ年月ヲ挙ケレハ汽船「ユー  
ヨルク」号ハ千八百七十四年八月十日同「オレ  
ニヤニ」号ハ千八百七十五年十月二十二日同「  
ルデン」<sup>一</sup>「エー」<sup>九</sup>「ジ」<sup>一</sup>号共ニ「ゴスタリカ」<sup>九</sup>号ハ千八百七  
十五年十一月一日ト九月トニアリ  
千八百七十五年余ク貿易報告書中船舶出入ノ  
部ニ於テ米國郵便汽船ノ出入千八百七十四年  
ニ比較シテ減少セシハ太平洋郵船會社所屬ノ  
汽船三艘ヲ日本人ニ賣渡セシニ依ルベキ者ヲ  
記セリ尤モ汽船「ユーヨルク」号ハ千八百七十

四年ノ賣渡ニ係ルト虽右三艘汽船ノ賣買ハ  
千八百七十五年十月ト十一月トノ西月ニ至ル  
迄其約成ラザリシガ故ニ千八百七十五年ノ十  
ケ月間ハ右三艘出入ノ噸數ハ米國國旗ノ下ニ  
加ヘリ然ルニ千八百七十六年間ハ此ボノ汽船  
終始日本國旗ヲ翻セリ是レ即チ全年ノ報告ニ  
於テ米船噸數ノ減少ヲ見ル所以ナリヤテ又午  
八百七十六年間米國ノ國旗ヲ翻ヒシテ當港ト  
上海トノ間ニ往復セシ米國汽船子バツ号モ本  
年一月廿四日賣渡ノ約結了シテ日本國旗ノ下ニ

属セリ是ヲ以テ次一周年間米國船舶ノ出入報  
告ハ昨七十六年ト比較スルニ至テハ果シテ尚  
オ一層ノ衰状ヲ見ルニ至ラン

此ボノ諸船米國ノ旗ヨリ日本國旗ニ轉セシト  
虽且其用貨物回送上ニ取リテモ又船客運送上  
ニ取リテモ更ニ通商ノ道ヲ達スルニ於テハ従前  
ノ如ク異ナルヲナシト云フ可シ此ボ汽船ハ改  
府ノ便用ニ充備スルヲ主トシ嚴正期ニ違ハス  
彼是ノ間ニ往復ス余ヲ以テ之レヲ視ルニ實ニ  
三菱會社ノ諸事取扱方等宜シキヲ得タリ本港

ニ設立セル一層古ルキ諸會社ト比シテ讓ル處  
ナシト云フモ敢テ過辭ニアラス  
千八百七十六年間にハ米國太平洋海郵船會社ノ  
汽船ト英國郵船會社ノ汽船トハ当港ト桑港ト  
ノ間ニ疾走杖<sup>快</sup>駛ヲ試ミタルアリ即チ米汽船  
チイオスベキ<sup>シ</sup>号ハ当港ヨリ桑港迄十五日十  
一時間ニ達シ英汽船「オセアニック」号十四日  
十五時二十分ニシテ着港シタリト云フ  
佛船ノ出入ハ通常船郵船共千八百七十五年ト  
千八百七十六年トヲ比較シ大差ヲ見ス

日耳曼船ハ千八百七十五年ニ較フレハ出入合  
シテ五千噸余ノ減少ヲ生セリ  
露船ハ前年ト大ナル變更ナシ  
瑞典及ヒ那威船出入ノ噸數ハ千八百七十五年  
出入合シテ三百十二噸ノ處昨七十六年ニハ出  
入合シテ噸ニ三千六百三十五噸ニ増セリ  
丁抹船出入ノ噸數ハ別段附言ヲ要セス  
荷蘭船ハ其噸數増加ヲ生タリ然レモ丁抹荷蘭  
瑞典那威魯船ノ出入噸數ハ依然小数ニ止マル  
ハ別表ニ依テ參看セラル、カ如シ



日本政府ヨリ發行セル船長、運轉手、及ヒ機関手  
等ノ雇入レ方並ニ此等雇入人ニ雇入免狀ノ交  
付規則又引水人及ヒ引水料ボニ関スル諸規則  
ヲシテ昨七十六年ノ出入船舶ノ報告中ヨリ漏  
スコアラバ蓋シ尚オ此報告ヲ全フセサル責  
アラン夫レ此雇人関係ノ規則ハ千八百七十六  
年六月六日引水人云々ノ規則ハ今年十二月十  
五日ニ於テ布告セラレタリ  
此規則ニ依レバ日本船ニ雇入ルベキ船長、運轉  
手及ヒ機関手ナリ、外国人ナルキハ管商局其他ノ

免狀ヲ所有スルアルモ日本試験官ニ依テ其技  
術ノ能ク任ニ堪ユヘキヤ否ヲ予シ同官ヲシテ  
満足セシノサルヲ得ルナリ  
日本試験官ハ右ノ試験ヲ行フニ方リ能ク其任  
ニ堪ユベキ外国人ノ補助ヲ受クルナリサテ又  
此ノ趣旨ニハ注目ヲ忽ニセサル英國又ハ其他  
ノ国々ニ於ケルカ如ク之レガ出願人タル者ハ  
試験ヲ受ケザルベカラサルハ余カ信スル所ナ  
リ  
引水料ボノ諸規則ハ是迄永ク一定ノ規則ナカ

リシカ漸ク制定スル所トナレリ船長若シ船舶  
出入ノ際引水人ヲ雇入レントスルモ其引水  
許可ノ免状ヲ有スルヤ否ヲ検査スヘキ責任アリ  
トス

左ニ記載スルモノハ日中引水ヲ要スル信号ナ  
リ

第一 船首ニ於テ船頭旗又ハ国旗掲クル

第二 萬國普通ノ引水信号上ノ符号ヲ示  
ス

夜中ニ於テハ左ノ信号ヲ全時若シクハ別時ニ  
掲示スル時ハ引水ヲ要スルノ信号ト見做スモ  
ノナリ

第一 十五分毎ニ青燈ヲ掲出ス

第二 須臾ノ間歇ヲ以テ凡ソ一分時ノ間透

明ナル白燈ヲ上甲板ノ舷部ニ於テ射  
發ス

又日本政府ハ日本形船積荷ノ目方ニ制限ヲ置  
キタリ目下施行ノ規則ニ依レハ回送定限ノ量  
目ニ超ユル荷物ハ一切日本政府へ没收スルモ

ノトス

例年ノ如ク横濱東京間鉄道收入高千八百七十  
六年ノ分ヲ左ニ掲載シ併セテ前年(千八百七十  
五年)ノ分ヲモ茲ニ登録シテ比較スベシ

乗客

千八百七十六年 百零六万四千百七十四  
千八百七十五年 百七十三万二千三百六十八  
三十九万七千五百五十八(卅二セシト)  
四十九万二千五百七十八(卅六セシト)

收入金

荷物

千八百七十六年 三十四万三千九百九十九  
千八百七十五年 三十二万四千四百七十五  
三万二千三百八十七(三三セシト)  
二万八千九百九十八(卅六セシト)

收入金

千八百七十六年合計 三十九万八千八百六十七(卅二セシト)  
千八百七十五年合計 三十三万五千五百七十六(卅五セシト)

英国領事

ラツセル、ロバートソン

英公使

ソル、ハアリー、バア、リクス閣下

品名	
木綿織物	部
金巾	
更紗	
綿織物	
木綿糸	
木綿縵糸	
雲齊木綿	
手拭	
綿縹子	
生金巾	
晒金巾	
深金巾	
綿縹絆股引	
唐棧	
小巾金巾	
緋金巾	
綿天鵝絨	
合計	

品名	
毛織物	部
アランケット	
旗布	
カムレット	

# 第一号

千八百七十六年十二月三十一日 = 了ル一周  
 年 間 神 奈 川 港 輸 入 物 品 表  
 (但シ 英 國 其 他 諸 州 ヲリ)

品 名	数 量	元 價	弗
木綿織物ノ部			
金巾	ヤルド 一,二三六,四九七	一〇三,八一五	
更紗	ヤルド 一,九四五,七九四	一四六,八二〇	
綿織物	ヤルド 一,〇八四,八七二	一〇七,八九五	
木綿糸	ピコル 一四六,二四八,三三四	一四,二四〇,〇〇二	
木綿縷糸	ピコル 三三四,四七	一九,八二八	
雲齊木綿	ヤルド 一,三三四,四三六	三七,五四一	
手拭	ドーズン 八,一〇四	四,九二五	
綿縹子	ヤルド 一,〇九七,三一六	一四九,九五〇	
生金巾	ヤルド 四三,三〇〇,五一三	二,二二八,八三七	
晒金巾	ヤルド 二五二,一一三	一八,五四七	
染金巾	ヤルド 二五七,四五六	二一,一〇七	
綿縹絆股引	ドーズン 八,六四四	三五,五五五	
唐襪	ヤルド 一七四,〇七六	四九,九三六	
小巾金巾	ヤルド 一,五八五,四八二	九四,二〇八	
緋金巾	ヤルド 二,七五一,六八三	一九九,七七〇	
綿天鵝絨	ヤルド 一,八八一,二七二	四〇四,四〇二	
合 計		七,七四七,一三八	

品 名	数 量	元 價	弗
毛織物ノ部			
ブランケット	ピコル 一,八九〇,五七	九六,七九七	
旗布	ヤルド 五三,〇五三	六,五〇〇	
カムレット	ヤルド 一四,一三九	三,八一二	

續キ

品名	数量	元價	弗
熟 鏡	ピコル	九八,五〇三,六一	三四三,〇二五
鏡 塊	ピコル	四,〇一四,二九	三,八五八
鏡 線		二,五七二,五一	二〇,八三七
鏡 片	ピコル	一七,五五四,四六	三一,〇四〇
鏡 器			七四,二六九
鏡 管			七,八一〇
屋根板 鏡			一,六二二
鉛 塊	ピコル	一,四〇七,二八	一〇,二四二
鉛 板	ピコル	九七九,三六	七,一八〇
白 銅	ピコル	一二八,三七	一二,八五二
水 銀	ピコル	四二七,八五	三二,二九二
重 鉛	ピコル	二,九六六,六一	一九,一四一
銅	ピコル	一,五三五,〇四	一二,〇一五
錫	ピコル	四二九,八三	九,八〇〇
錫 板	箱	二,六七五	一六,二〇九
黃 銅	ピコル	二四九,〇一	五,八二八
合 計			六二六,八八六

品名	元價	弗
兵器ノ部		
武器ノ部		
合 計	五十一,九五九	五十一,九五九

品名	数量	元價	弗
外國産雜品ノ部			
破 关 碇 鎮			一,〇五一

續キ

品名	数量	元價	弗
巴黎品			五,一九九
ビール			四六,五四九
靴墨			五,一二一
靴并長靴	ペーア	一六,八五〇	一五,二八九
書籍			五七,六一九
鈕			九,九六一
洋紅	ピコル	五八〇	四,〇一五
石炭	トン	一六,七四五	一七六,九五一
玉蜀黍	ピコル	八三四,六一	三,九四五
蠟燭		三三〇,九三	六,六九四
帆木綿	ヤルド	二三一,八五一	四七,九六八
漆灰	ピコル	一七,七四三,一〇	一四,八七五
衣裳類			九四,一二四
護謨衣服			二〇,二二六
コルデー	ピコル	一,七七五,三二	二四,五九一
珊瑚	ピコル	一九,六九	三一,一三六
時計	ピコル	八三,三八七	一〇五,〇六二
毛氈			四〇,六一三
菜種	ピコル	三,四三二	四一,〇五八
漆料	ピコル	一,二三三,三二	一〇四,六三一
麩粉	ピコル	九,二〇七,五一	三六,四六三
器具			七,三八五
人參	ピコル	六〇,六三	四,二〇九
窓硝子	ケース	一四,三八九	五五,五二九
硝子器			九四,三九二
麻糸	ピコル	一八四,六五	二,一四八

續 々

品名	数量	元價	弗
工用具			一, 二〇二
學術用具			二二, 五一六
樂器			九, 五五三
麻布	ヤルド 二九, 四九七		七, 二〇二
柔皮	ピコル 五, 三〇八, 〇五		二〇九, 四二〇
機械			九九, 四三一
柔皮衣	ヤルド 一三, 八七三		二, 九六二
製藥			一四一, 六九八
附木			七四, 一二六
鏡			三, 九九三
石炭油	ピコル 八八, 七八九, 二〇		二九七, 〇六六
サラッド油			二, 八二七
カストル油			五, 一六五
諸油			五, 七四五
油布	ヤルド 二, 七五四		一, 六四六
塗油	ピコル 三, 八二〇, 二五		三二, 一三〇
畫具			一, 二八四
香具			一二, 七四六
陶器			四, 三〇四
鍍器			五九, 四三〇
紙并文具			一九八, 一四七
食料			一三三, 一六二
幾尼涅	ピコル 八, 四一		三二, 五二五
丹	ピコル 一八, 三一		一, 九二九
棒砂糖	ピコル 一, 六三五, 七九		二二, 四一三
掉石酸	ピコル 五, 二七〇, 五五		二九, 八二〇



續キ

品名	数量	元價	弗
香石鹼			三三, 三六二
馬具			九, 〇三五
眼鏡			七, 二七一
絹織物	ピース 八, 〇二九		三〇, 五三四
縹子織物	ピース 二, 四一三		四三, 三三五
絹綿交織物	ピース 一, 九八六		四一, 二五三
煖爐			二, 六二八
茶鉛	ピコル 一四三四四, 七六		一三七, 五一五
寒暖計			一, 七一九
煙草	ピコル 一七四, 七七		九, 六六五
浴用手拭	ピース 五, 五六五		九, 六八三
裝束品			八, 八三六
傘骨	ピース 一三, 四三六		七五, 八〇四
假深			七五, 五七三
袂時計	ピース 一八, 七六〇		三, 三三九
葡萄酒等			一二七, 二六二
雜品			九二, 四二〇
官用品雜種			四九七, 五二三
合計			六二一, 二八四
			四, 二五五, 二二八

品名	数量	元價	弗
東洋產雜品ノ部			
明礬	ピコル 一, 八五八, 五〇		三, 三一三
蓄類草	頭 三, 九四七		三一, 一八四
卷煙草	ピコル 二三八, 五七		三四, 八九二
丁子	ピコル 二四七, 五一		八, 八四七

續キ

品名	数量	元價	弗
繅綿	ピコル 二三,六三七,六八	三三一,九六九	
毛皮		三,九七一	
犀角	ピコル 四,九三	八,七九五	
水牛角	ピコル 一四〇,五八	二,三三一	
皮	ピコル 一四五,六八	二,三三三	
蹄	ピコル 一五九,二〇	二,一三〇	
藍靛	ピコル 二〇三,七九	四,一五三	
象牙	ピコル 四〇五,五五	七,七六二	
蕙		一三,一二八	
麝香	ピコル 二,一一	一七,七二五	
地豆油		九,〇四三	
蠶豆豌豆	ピコル 一一,三九七,五一	二五,一三〇	
藤	ピコル 一,六九四,一五	一一,〇五〇	
大黃	ピコル 三七四,三四	六,三二一	
赤砂糖	ピコル 五〇三,〇九四,三四	一,九〇九,一〇二	
白砂糖	ピコル 五六,五〇五,〇〇	四〇〇,一五二	
氷砂糖	ピコル 五,二一四,一四	二八,〇六七	
紅花	ピコル 六六三,二四	二八,一二八	
洎夫藍	ピコル 三,八三	一,六六二	
海馬齒	ピコル 二,七〇	一,二九一	
茶蕙		三一,三一	
龜甲	ピコル 一二〇,八一	六五,七二六	
朱	ピコル 五六六,〇七	四五,一八〇	
合計		三,〇三四,五九七	

前條七口ヲ合シテ統計スルテ次ノ如シ

品名	元價	弗
木綿織物	七,七四七,一三八	
毛織物	二,五三二,一五二	
毛木綿交織物	五九三,九二〇	
金屬	六二六,八八六	
兵器	五一,九五九	
外國產雜品	四,二二五,二二八	
東洋產雜品	三,〇三四,五九七	
輸入合計	一八,八四一,八八〇	

第二号

千八百七十六年十二月三十一日ニ終ル一周年間

神奈川港輸出物品表

(但シ英國其他諸州ニ)

品名	数量	元價	弗	元價	弗
鮑貝	ピコル 一,一〇二,九六			二,九八〇	
糖				三,七九七	
樟腦	ピコル 一〇四,〇五			一,七八九	
茯苓	ピコル 一,六二三,五七			四,五八三	
壳蝓	ピコル 三,八九九,四二	四六三,八四六	}	五三〇,九四六	
蝓	ピコル 五七,二〇	一一,四五〇			
屑蝓	ピコル 一,四八六,一九	五五,六五〇			
石炭	トン 一,三七五			一一,五二一	
鑄銅	ピコル 六,九七八,六九	一三二,八三二	}	一五四,〇〇三	
銅板	ピコル 九一六,六四	一八,九四一			
銅塊	ピコル 五二,四五	一,〇四四			
銅線	ピコル 四五,八七	一,一八六			

續キ

品名	数	量	元價	弗	元價	弗
水綿織物					一,三三七	
藥種	ピコル	五三九,九三			四,七三三	
乾魚						
鰯	ピコル	五,七九四,七〇	六九,三四八	}		
鮓	ピコル	五,一四四,八七	一四六,七九四			
ビーチ、テ、ソル	ピコル	三八六,四五	一二,二九一		二九七,四九五	
貝	ピコル		四,三一七			
鱈鱈	ピコル	四六六,九九	一一,六四六			
諸乾魚	ピコル	七,〇五九,一三	三五,〇九九			
扇子					三六,六八〇	
水龍車					一,〇三一	
人參	ピコル	一,二五 <del>五</del> 四九			一四〇,二五〇	
寒天	ピコル	一,〇七九,五七			三二,三九〇	
漆器					九二,四八四	
製菓	ピコル				二,七四七	
推茸	ピコル	一,九〇八,〇九			八〇,七八四	
陶器土器					二九,八七八	
五升芋	ピコル	七,一六四,六六			六,六五七	
紙	ピコル	八八,八五			三,六〇一	
食料					一,四一五	
米	ピコル	二六八,二七八,六〇			四六二,六七五	
板鼠布	ピコル	一四一三三,二三	三〇,六六四	}	五二,六五〇	
刺鼠布	ピコル	六,二三三,〇〇	二一,九八六			
屏風					一,七三二	
生糸	ピコル	一八,四一八,六 <del>六</del>	一三,一九一,七一〇	}		
熨斗糸	ピコル	一,四八八,九三	二三三,六一三		一三,七三五,〇四〇	
真綿	ピコル	五八八,五八	一一一,五〇四	}		
屑糸	ピコル	四,三一六,八一	一九八,二一三			

續キ

品名	数量	元價	弗	元價	弗
絹織物				一五,八六九	
蠶卵紙	枚 一,〇一八,五二五			一,九〇二,二七一	
毛皮				一,七四六	
茶	ピコル 一五,九九四,〇六			三,四七三,一七八	
番茶	ピコル 二,〇三三,五八			二一,九八四	
粉茶	ピコル 六,〇七〇,五二			一九,四五六	
茶袋紙				一,二一七	
葉煙草	ピコル 三,二三六,二二			三四,六二二	
傘	ピコル 五二,六一四			二,五二八	
木蠟	ピコル 五三〇,〇〇			六,五三〇	
蜂蠟	ピコル 二九,四五			一,一四四	
雜品				二七六,一三六	
合計				二,四三一,八七九	

但シ志ピコルハ 常量百三拾三磅三分,一ニ當ル

第三号  
千八百七十六年 間 神奈川港 出入  
外國船舶一覽表

國	入 港		出 港	
	艘 数	噸 数	艘 数	噸 数
英國通常船舶	一一一	一二五,四四八	一二四	一二八,八三〇
英國郵船	二七	二六,六五九	二六	二五,六三〇
米國通常船舶	二五	一六,五八二	一八	一八,六九〇
米國郵船	三七	一三三,九三一	三九	一四一,一五四
佛國通常船舶	三	一,〇〇九	三	一,〇〇九
佛國郵船	二七	四四,三五五	二六	四二,六二九
日耳曼船	一八	六,八九二	二七	六,八五二

續 々

國	入		出	
	艘	噸數	艘	噸數
魯國船	四	一,四四五	三	一,三二〇
瑞典那威船	五	三,六三五	五	三,六三五
丁抹船	四	八四二	三	八二四
荷蘭船	二	二,六八三	二	二,六八三
合計	二八三	三六三四八	二八六	三七三,二五六

日本人 = 賣渡シタル船舶

英國旧船	價	六,〇〇〇 弗
英國船	價	七,〇〇〇 弗
米國郵船一艘	價	七,五〇〇 弗
合計		二〇,五〇〇 弗

千八百七十六年 第四号 神奈川港輸出入貨幣一覽表

輸 入 之 部		弗
英國其他諸州ヨリ		一三,〇二六,二九〇
日本諸開港場ヨリ		八,三五〇,九八一
合計		二一,三七七,九三一
輸 出 之 部		
英國其他諸州へ		二二,六八五,三八九
日本諸開港場へ		五,三六五,二九四
合計		二八,〇五〇,六八三
輸出入合計		四九,四二八,六六四

第五号  
千八百七十六年  
并=出入船舶手数  
及  
出入收稅料表  
倉敷

稅目	弗
輸入稅	八四〇, 四九六
輸出稅	六七六, 七七四
船舶手数料	七, 六一六
倉敷料	八, 二三三
雜稅	二, 二〇一
合計	一, 五三五, 三二〇

第六号

千八百七十六年十二月三十一日迄神奈川  
港在留英國人并=英國商會其他  
外國居留人并=外國商會負数表

國名	人負	社数
英國	六三五	五四
奧國	一五	二
白耳義國	一二	一
支那	一,〇三三	一八
丁抹	一九	一
荷蘭國	八六	四
佛國	一六一	三六
日耳曼	一六〇	一九
布哇		
伊太利	二	六
伯露		
葡國	六二	
魯國	三五	

續 千

國 名	人 員	社 數
西 國	三 二	
瑞 典 那 威	一 九	二
瑞 西	二 四	七
合 衆 國	二 四 〇	二 六
合 計	二, 五 五 四	一 七 六



機	糸	頁
		二三
二		五
子		四二
二		〇四二
子		四五六二

1111111111